

第3期健康・医療戦略について (グローバルヘルス関連部分)

2024年11月14日

内閣府 健康・医療戦略推進事務局

内閣官房 健康・医療戦略室

- ◆ 第2期健康・医療戦略作成時点では未作成だった「グローバルヘルス戦略」の視点を盛り込み、日本の健康医療産業の国際展開と、グローバルヘルスへの貢献を両輪で進める三方良しの内容とする。

(主な考え方)

- 国民の健康を守る**安全保障の観点**から、国際的な連携は必須。**官民挙げてのグローバルヘルスへの貢献を通じて諸外国と信頼関係を築く**ことは、国民の命を守ることにつながる。
- グローバルヘルスに影響する因子が多様化・複雑化し、イノベーション競争が激化する中で、我が国の**健康医療産業の国際競争力**を高めるために、グローバルサウス諸国との連携の視点が重要である。
- 経済成長を続ける**グローバルサウス諸国と連携**し、イノベーションとその実装、多様かつ信頼性の高い健康医療産業サプライチェーンの構築、グローバルヘルスへの民間資金の促進に取り組むことが必要。
- アジア・アフリカを健康医療産業のポテンシャル市場、創薬・医療機器開発の機会としてとらえ、**民間企業等の展開を積極的に後押し**するとともに、**グローバルヘルス戦略**のパートナーシップ国との連携経験をグローバルサウスの第三国との協力においても活用する。

■ KPIの位置づけ

戦略を実現するにあたり、特定の省庁・機関ではなく日本全体の取組みに関する成果指標としてKPIを設定する

※参考:第2期健康・医療戦略の国際展開部分のKPI

健康・医療関連産業の国際展開による展開国での市場創出推計額(対基準年 比 1.5 倍)

◆以下の方針でKPIを選定する。

- ① 日本の取組として評価・測定可能なもの。
- ② 他律的な要因に影響を受けづらいもの
- ③ **既存のデータの活用**等により、次期戦略策定前後における経時的変化が、客観的・定量的・効率的に評価可能なもの。
- ④ 日本の健康医療産業の成長・海外展開／グローバルヘルスの利益と関連するもの。

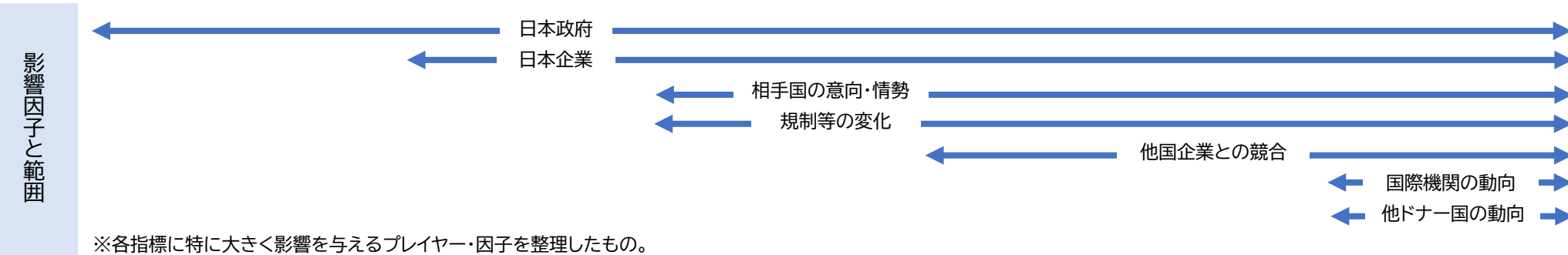
※④は1つのKPIの中で両要素を入れ込むとは限らない。

◆今後の想定される検討の流れ

- ① 本日のご議論をふまえて、KPI候補案を再度整理し、優先度の高い候補を抽出し、定義を明確化。
- ② 各省庁・関係機関から、優先度の高い候補についてデータを収集し、経年的な推移を確認。
- ③ 各省庁・関係機関と協議の上、KPIを選定するとともに、目標数値を設定

KPI候補案とマッピング

現時点の指標案を、評価の視点(インプット/アウトプット/アウトカム)、影響する因子、指標が関連する分野(予算/人材/国際展開/脆弱層への裨益)で分類し、マッピングした。



インプット	アウトプット	アウトカム
<p>【指標の性質】</p> <ul style="list-style-type: none"> 予算 人材 国際展開 脆弱層への裨益 		
<p>グローバルヘルス分野で育成した日本人のヘルスケア人材の人数</p>		<p>WHO PQの取得数・Compendiumへの掲載数</p>
<p>GH人材戦略センター登録人数</p>	<p>国際機関の邦人職員数(ジェンダー別、幹部職員)</p> <p>ビジネスマッチングの機会創出(会社数×機会数)</p>	<p>FDAの認可を取った医薬品・機器数</p> <p>相手国のガイドラインに掲載された数</p> <p>相手国における認証取得数</p>
<p>LMICsへの日本人医師・看護師派遣数</p>	<p>国際機関の作業部会や委員会等でメンバーを務める日本人専門家の数</p> <p>セミナー等情報提供の機会(参加者数×機会数)</p>	<p>国際調達における日本企業製品の調達割合</p> <p>資金拠出先の国際機関・官民連携基金が救命した人数</p>
<p>日本政府によるグローバルヘルス関連予算額</p>	<p>LMICsにおけるヘルスケア支援プロジェクト数</p> <p>LMICsにおけるヘルスケア事業の採択企業数</p>	<p>日本出資・融資・無償により建設・機能強化されたLMICsの地域保健拠点数</p> <p>政府支援後にLMICsでの事業化につながった企業数</p>
	<p>LMICsにおける母子手帳普及率</p>	<p>日本出資・融資・無償により建設・機能強化されたLMICsの医療施設数</p> <p>LMICsへの日本の医療機器・医薬品等輸出入額</p>